人的受援計画の実効性と必要人員の事前掌握について

大森　貴之



〔質問〕本市では人的受援計画を策定しているのか伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】

〔質問〕東日本大震災等を踏まえ、本市で人的支援が必要と考えられる業務を伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】

〔質問〕受援要請は基本的に県に行われるが、誰がいかなる基準判断で、相互支援協定自治体を含め、どこに要請をするのか伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】

〔質問〕災害時応援協定は、平時から点検すべき項目が追加されているが、協定自治体との情報交換や、全庁による訓練を実施したことはあるのか、また今後行う計画はあるのか伺う。

〔答弁〕【危機管理課長】

【危機管理課長】令和4年2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、本年3月には「白石市地球温暖化対策実行計画」を策定して体制を整えている。公共施設の照明LED化や白石市文化体育活動センターのZEB化改修事業を進めた。また省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫・冷凍庫、テレビの購入に対しての補助を行なっている。さらにクーリングシェルターの設置や熱中症警戒アラート対応、豪雨災害への防災体制の強化に取り組んでいる。

〔質問〕これから取り組もうとしている温暖化対策を伺う。

〔答弁〕【市長】「白石市地球温暖化対策実行計画」の各種施策を着実に実行していく。公共施設の照明LED化や電気自動車の導入。市民・事業者向けには国・県の補助金等財源の確保を図りながら温暖化対策事業を展開していく。

◎小中学校のプール活動について

〔質問〕学校での夏休みのプール、水泳が少なくなっているが、所見を伺う。

〔答弁〕【学校管理課長】

熱中症リスクの増大、プール施設設備の老朽化、プールの管理業務の負担などから全国的にも見直しをする学校が増えており、本市でも課題に応じた取り組みをしている。

〔質問〕児童・生徒の成長過程で水泳体験は必要と思うが所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】成長過程での水泳指導は教育的意義があると認識している。学校プールに限らず民間のプールも活用しながら指導の機会を確保している。

〔質問〕プールに代わる代替プログラムの検討はされているか伺う。

〔答弁〕【教育部長】自校プールを活用できない学校は「体力向上モデル事業」として、市内の民間プールを活用している。自校プールを使用している4校についても、施設の老朽化や暑さなどにより使用が困難になることもあるので、民間プールも活用しながら指導している。

地球温暖化への対応について

四竈　英夫



〔質問〕近年、異常気象・短時間異常降水・ダムの異常渇水などの気象災害が続いている。これは地球温暖化による人的要因とエルニーニョ現象などの自然要因が重なって起こるといわれている。本市が取り組んでいる温暖化対策を伺う。

〔答弁〕【環境課長】令和4年2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、本年3月には「白石市地球温暖化対策実行計画」を策定して体制を整えている。公共施設の照明LED化や白石市文化体育活動センターのZEB化改修事業を進めた。また省エネ性能の高いエアコン、

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。